



News Release

令和3年8月10日

藍の叩き染め体験の実施（地域協働授業）

藍をテーマにした中山間地域の地域活性に取り組む地域関係者と、本学学生の協働によるタデアイの定植作業を6月に実施しました。そのタデアイの刈り取り体験と、刈り取った生葉を用いた叩き染め体験を実施します。

1 概要

今年度から、本学学生が地域協働授業の一環として、魚津市鹿熊地区を舞台に、藍からつながる持続可能な地域づくりに取り組む「TUNAGU・project」（代表 南部歩美氏／富山県中山間地域チャレンジ支援事業）と連携した学習を実施しています。プロジェクトの広がりをもつ活動として、県内各所でタデアイを栽培する取組みが行われておりますが、本学もこの取組みに参加し、敷地内にてタデアイを栽培することとなり、6月に育成した苗を定植する作業を、プロジェクト関係者と協働して実施しました。

今回は、そのタデアイの刈り取り作業と、刈り取った生葉を用いた叩き染め体験を行います。

2 日時 令和3年8月11日（水）14時30分～16時30分

3 場所 本学射水キャンパス 生物・医薬品工学研究センター K115室
および旧付属農場（ひまわり畑）

4 内容 タデアイの刈り取りおよび叩き染め体験

5 参加者 本学工学部学生
（予定） ひまわりサークル（顧問 生物工学科 岸本崇生准教授）
プレゼンテーション演習（担当 同日比慎准教授）受講生

南部歩美 氏（プロジェクト代表・藍染め屋 aiya）

ほか